

2018年度から3学部の生命科学および化学分野で可能に 千葉大が飛び入学を拡大、全国唯一の園芸学部でも

国立大学法人千葉大学では、2018年度から飛び入学制度（＝先進科学プログラム）を、園芸学部などの生命科学および化学分野において拡大し、世界に貢献する独創的な研究を担うことができる「若い才能」の発掘と科学者育成に力を入れていきます。

■千葉大学の飛び入学制度について

1. 概要

飛び入学制度（＝先進科学プログラム）とは、高校2年修了後、通常より1年早く大学に入学して「若い才能」の発掘と科学者育成を促進する制度です。1998年にスタートしたこのプログラムは、これまで多くの研究者・高度専門職業人を輩出してきました。現在は理学部・工学部・文学部において「物理学」「物理化学・生命化学」「フロンティアテクノロジー」「人間探求」の4コースで実施され、入学時期は4月と9月です。1998年～2016年までの志願者は353名、合格者は86名。卒業生は63名で、そのうち55名（87.3%）が千葉大学をはじめ東京大学、京都大学などの大学院に進学しているほか、MITやラトガース大など海外の有名大学院で学ぶケースも増えています。



2. 主な特徴

- 【**少人数体制による独自カリキュラム**】入学した学生は選んだコースに該当する学部・学科に所属し、学部課程に加え、先進科学プログラム独自の科目を履修することでさらなる広い視野と思考力を身につけます。1年次から国際的な研究を進める第一線の教員とマンツーマンに近い環境で指導を受けられるのが特徴です。
- 【**海外語学研修・海外留学**】1年次または2年次の夏休みに、英語学習を目的とした約1ヶ月の海外研修を実施し、3年次以上には研究目的の海外短期留学を支援するなど、大学の費用負担による研修制度を設けています。
- 【**早期卒業制度**】学部の早期卒業や大学院を飛び級する制度があり、最短23歳での博士号取得も可能です。
- 【**経済的サポート**】入学料は免除。選考により、授業料の全額または半額が免除される制度もあります。

3. センター試験不要の入試方法

- 【春飛び入学】方式Ⅰ：「考える力」を問う計7時間半に及ぶ課題論述と提出書類＋二次面接
方式Ⅱ：千葉大学「個別学力検査（前期日程）」と提出書類＋二次面接
- 【秋飛び入学】方式Ⅲ：自己推薦書等の提出書類並びに課題論述＋二次面接

※方式Ⅰでは選択コースによって全国物理コンテスト物理チャレンジの第1チャレンジ合格者や、化学グランプリ第1次選考通過者は課題論述が免除される。また、方式Ⅲでは、国際物理オリンピック、国際化学オリンピックの日本代表候補、ISEF（国際学生科学技術フェア）の日本代表に対する課題論述免除制度もある。

■2018年度に拡大・変更される3分野

飛び入学生の教育は、理学部・工学部・文学部をはじめ、多数の部局が強力に連携・協力して実施しています。今回、園芸学部の植物生命科学分野や理・工学部の化学分野に拡大することで、本学の理系学部の多くの分野で飛び入学が可能となり、優れた能力や資質をもつ若者が、早期から研究の基礎となる学問を深く学び、将来、研究者等になるためのプログラムを整えました。

- **植物生命科学関連分野**（園芸学部応用生命化学科：募集分野の追加に伴う変更）
- **化学関連分野**
（理学部化学科：募集分野（無機・分析化学および有機化学）の拡大に伴う変更）
- **工学関連分野**
（工学部総合工学科：改組に伴う募集分野（共生応用化学）の拡大に伴う変更）

